

研究テーマ：国際文化教育方法改善の研究－模擬国際会議の導入を中心に－

研究代表者（職氏名）：准教授 富田和広

所属：人間文化学部国際文化学科

共同研究者（職氏名）：教授 伊東和久 講師 原理

シミュレーション・ゲームで授業改善

- ・ 実施項目：実験授業と授業外での模擬国連大会の実施
- ・ 実施科目：「基礎ゼミⅡ」「政治学」「東アジア地域論特論」「比較社会論」
- ・ 実施内容：「無人島ゲーム」「貿易ゲーム」「模擬国連」

◆ 無人島ゲーム

「何もない無人島」に暮らすとして何が必要か話し合い、探ることによって、「人間にとって必要なものは何か」を発見し、豊かなくらしの中味や開発途上国・地域の現状に気づいていこうとするもの。

◆ 貿易ゲーム

「貿易」を中心に、世界経済の動きを擬似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーション・ゲーム。

◆ 模擬国連

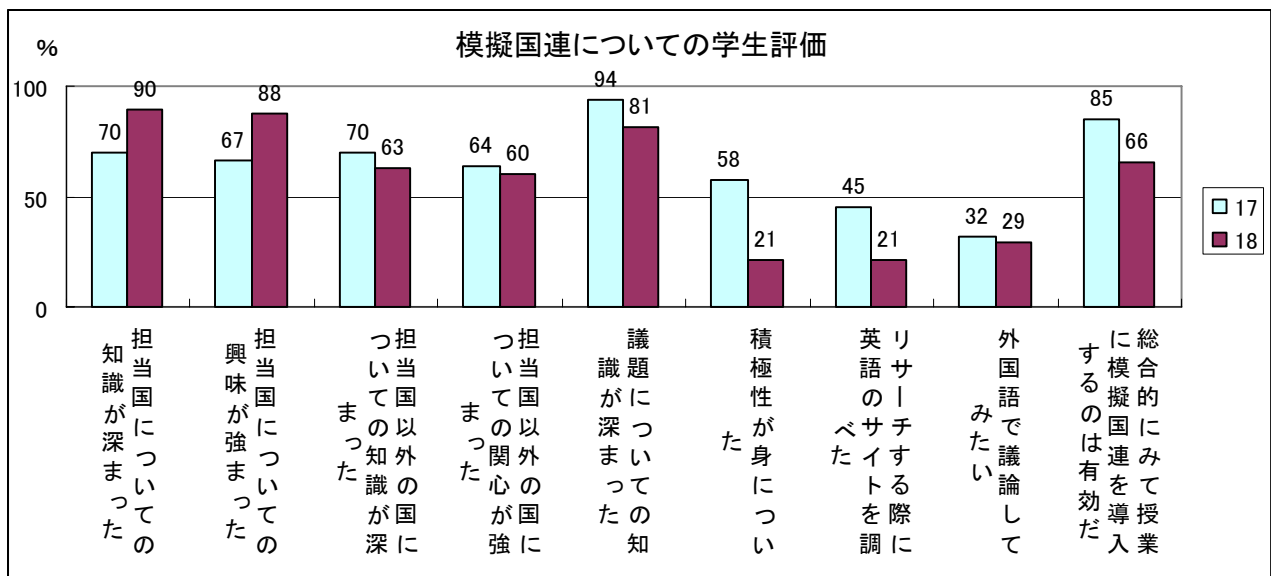
参加者一人一人が世界各国の大使となり、実際の国連会議で扱われている問題を話し合うことによって、国連会議を再現し、国際問題の難しさを理解すると共に、問題の解決策を探ろうとするディベート。

◆ 第2回模擬国連会議広島大会

2007年2月15日～16日、広島キャンパスにて以下の3つの会議を開催。安保理と総会はそれぞれ「政治学」「比較社会論」の授業の総まとめとして実施。

- ・ 安全保障理事会 議題：北朝鮮核問題 使用言語：英語/英語/英語(公式/非公式/文書)
- ・ 気候変動枠組条約第12回締約国会議(COP12)特別会合 議題：将来の世代のための気候系の保護 使用言語：日本語/日本語/日本語(公式/非公式/文書)
- ・ 国連総会第2委員会 議題：水問題 使用言語：日本語/日本語/日本語(公式/非公式/文書)

◆ 模擬国連についての学生評価（「比較社会論」履修者）



「当てはまる」から「全く当てはまらない」までの5段階で回答してもらった（グラフの値は「当てはまる」と「やや当てはまる」を合計したもの）。